臺灣日日新報
本日八頁
發行兼編輯人 佐々木[illegible]
發行所 臺北市榮町四丁目 臺灣日日新報社
[illegible]

政府は既定方針通り
敢然再開議會に臨む

【東京一日發同盟】阿部首相は一日午前宮中に參內、拜賀終了後[illegible]各閣僚の[illegible]を求め[illegible]代議士の反政府[illegible]って[illegible]なる動きを惹してゐる政情に對處する首相の信念を披瀝し諒解を求めたに對し各閣僚ともこれを諒解した、即ち首相の心境は斯る運動に惑はれることなく既定方針通り再開議會に臨み議會で不信任決議がなされた場合には時の情勢に應じて適當なる措置を採るもの如くである、而して政府は決然と再開議會に臨むことなく[illegible]との關係に依つて[illegible]るの[illegible]を[illegible]て各方面の情報を[illegible]にこれが具體化に努めて居り一日も首相私邸を中心に[illegible]長、河田藏相、青木[illegible]、西尾[illegible]大臣が夫々首相を訪問[illegible]た

不信任案に
適宜措置に

[illegible]永井[illegible]相が[illegible]首相を訪問政府の決意につき所信を述べた、その後[illegible]官長は各方面の[illegible]を[illegible]ねた

陸相、首相と懇談
時局擔當の決意牢固

【東京三十一日發同盟】[illegible]では政府の[illegible]に[illegible]して[illegible]の[illegible]を以て[illegible]し來つたが、[illegible]陸相は三十日[illegible]の來訪を受けて首相を初め政府側の意向を[illegible]した結果、同日午後私邸に首相を訪問して時局に對する首相の意向を聽取すると同時に[illegible]政府側[illegible]ところあつた

右首相との會談の結果に基き三十一日午前十時より[illegible]官邸に[illegible]軍務局長、河村[illegible]、[illegible]長、[illegible]を招致[illegible]より[illegible]の説明を行つた[illegible]二時間に亙つて[illegible]の[illegible]に對處すべき[illegible]の[illegible]に[illegible]見の交換を遂げた

【東京三十一日發同盟】[illegible]代議士に依つて敢ぜられた政府不信任運動に對し政府はこれを一部の[illegible]として[illegible]の[illegible]に出るか[illegible]代議士の反政府[illegible]にあり[illegible]化する[illegible]にあり、その內部には[illegible]を取るべしとの[illegible]、[illegible]方面の情勢を[illegible]した、同日の首相と陸相の會見は約一時間に[illegible]も注目を[illegible]が首相として[illegible]も[illegible]首相の決意[illegible]政府が一[illegible]に[illegible]するまでは[illegible]行に[illegible]する[illegible]を以て[illegible]の[illegible]に[illegible]して居り外相、陸相、[illegible]との[illegible]でもこの[illegible]に[illegible]て[illegible]を[illegible]した[illegible]で[illegible]ある、而して政府[illegible]には[illegible]五[illegible]首[illegible]との[illegible]に依る議會[illegible]期待を[illegible]十日前後にこれが實現を圖るべしとの意向もあるが

注目される
首相訪問者陸續

【東京三十一日發同盟】政界の[illegible]有志代議士[illegible]後の[illegible]各般の情勢より見て政府が[illegible]りこの[illegible]を[illegible]得るかどうか[illegible]問で今後の政府政[illegible]の動向は[illegible]米[illegible]に[illegible]を加へてゐるが卅一日も早朝から首相訪問者相次ぎ[illegible]午前八時首相を訪問民政[illegible]方面の[illegible]を[illegible]いて[illegible]の[illegible]、池田[illegible]

日ソ漁業暫定協定
露都で正式調印

【モスクワ一日發同盟】東郷大使とモロトフ外務人民委員との間に交渉中の日ソ漁業暫定協定は三十一日午後十一時（日本時刻一日午前六時）正式調印を了した、右は現行漁業協定の期限を更に一ヶ年間延長することを約定せるものであるが本條約は兩國間の折衝を待ち本年中に締結することになつてゐる

【東京三十一日發同盟】日ソ漁業條約暫行協定は三十一日夜モスクワで東郷大使とソ聯モロトフ外務人民委員間に調印が行はれ同時に北鐵讓渡金問題も圓滿解決を見ることとなつたので右に關し外務省では三十一日午後八時左の如く發表した

外務省情報部發表

先般來政府は日ソ間長期漁業條約[illegible]解決のため東京及びモスクワにて折衝してゐたがソ聯側の回答遲延し到底本年中に交渉を纏め得ないことが明かとなつたので取敢ず明年限りの暫行協定を取結ぶこととし交渉を進めた結果三十日の東郷大使、モロトフ外務人民委員間の會談にて政府の承認を條件として暫行協定に三十一日署名することに話が纏まつた、協定の內容は大體昭和十四年の通りであるがソ聯側は昭和十五年中に長期本條約を締結して本暫行協定に代らしめる趣旨の規定を設けることにも同意した、從つて長期漁業條約交渉は今後繼續して行はれる次第である、尚昨年來漁業條約締結交渉と關聯して問題となつてゐた北鐵代償金最終拂殘金六百万円弱の支拂方に關しては政府は今次交渉と並行してこれが解決のため種々滿洲國、ソ聯邦間に斡旋を行ひ種々折衝の結果右殘額金に利子及び金約款增金を附したるものより滿洲國側が北鐵讓渡協定に基き有する明確なる對ソ債權額百二十万円弱を控除して滿洲國側の支拂に付了することとし右支拂金に付ては ソ聯邦側はその三分の二を下らざる金額まで日滿兩國より物資を購入することとして茲に本問題の解決を見るに至つた

【東京一日發同盟】日ソ漁業條約暫定協定はモスクワにおいて東郷大使とモロトフ外務人民委員との間に無事調印を完了したので外務省情報部では一日午後一時四十分左の如く發表した

日ソ間の漁業暫定協定は昭和十四年十二月三十一日午後十一時（モスクワ時間）署名を了し同時に北鐵代償金最終殘額金支拂問題に關し諒解を遂げたり

北鐵殘金支拂
近く細目交渉

【新京一日發同盟】北鐵代償金殘額問題は[illegible]三十一日の東鄕モロトフ會談の結果、大綱につき意見一致を見たので滿ソ兩國政府では滿洲國の支拂ふべき相殺殘額の支拂及び業務品に物資に依る支拂分の割當等につき、近く細目交渉を開始する筈で會議開催地は東京または哈爾賓に決定することとならう

1

2

3

粵漢戰線

①鐵橋破壊で假橋を渡り追擊する皇軍部隊　②佛子高地より敵陣を砲擊する○○部隊　③佛子高地より前進する○○部隊

元旦の奉祝攻擊
武漢地區の第一線

【漢口一日發同盟】皇紀二千六百年の輝く曙光は勇士の雄叫びと共に第一線に訪れた、[illegible]の老兵、新鋭の若武者を配して[illegible]力益々擴充し[illegible]火と燃ゆるわれ等の[illegible]が[illegible]の[illegible]作戰たる敵の冬季攻勢を[illegible]して[illegible]の[illegible]のなかに迎へた新春は感激一入深いものである、元旦午前八時わが第一線の勇士は全線一齊に銃を[illegible]く[illegible]して 大元帥陛下の万歳を奉唱、[illegible]の杯を[illegible]いだが江北、江南に亙る[illegible]實に一千五百キロの我が第一線[illegible]隊から放たれた万歳の大波[illegible]は敵[illegible]の[illegible]を[illegible]ねば已まぬ[illegible]なき[illegible]が決意を[illegible]示したもので[illegible]第一線[illegible]せしめるとともに遠く[illegible]の心[illegible]せしめた、かくて[illegible]にあつて[illegible]の[illegible]を交したわが勇士は江北、江南の[illegible]所において[illegible]する[illegible]冬季攻勢[illegible]部隊を求めて「元旦奉祝攻擊」を敢行しこの日[illegible]わが[illegible]の[illegible]は山野を[illegible]し[illegible]四年の[illegible]を[illegible]る[illegible]く戰果を收めた、なほ在武漢各部隊においては午前八時第一線と時を同じくし[illegible]なる東方遙拜式を擧げ[illegible]目的[illegible]の決意を新たにした

英德縣城日章旗飜る

【連江口にて三十一日發同盟】英德目ざして山岳地帶を大迂回した[illegible]、野口、佐々木の諸部隊及び北江に沿つて北上した[illegible]部隊の巧妙な包圍[illegible]下に英德守備の敵は忽ち[illegible]を開始し我が[illegible]部隊は[illegible]抵抗を一蹴しつつ[illegible]行、三十日午後四時半佐々木部隊の一番乘りを始めとして[illegible]そうつて英德縣城に突入城頭高く[illegible]の日章旗を[illegible]げた

英德より引續き猛進

【廣東一日發同盟】廣東省東北部山岳地帶に[illegible]る敵の[illegible]に北江沿ひに追擊を[illegible]けてゐた我部隊は三十一日正午[illegible]線の一大要衝たる英德を拔き、息つく間もなく引續き○○方面に猛進中である

三華鎭の敵を覆滅

【廣東一日發同盟】廣東省東北山岳地帶に[illegible]る敵の[illegible]に我[illegible]方面に行動[illegible]けてゐた[illegible]田、石原、芥田、上田等の各部隊は三十一日午後六時四十分三華鎭に進入[illegible]つて第四戰區の[illegible]に當つてゐた余漢謀の本[illegible]完全に覆滅した

翁源、河頭の敵に
徹底的打擊を與ふ

【廣東一日發同盟】翁源に進入した上田部隊は西方に[illegible]を轉じ金山[illegible]方面より退却中の敵の退路に[illegible]の[illegible]を[illegible]破し三十一日未明突出、第百八十七師の約二千、百五十八師の約三千を[illegible]より急襲したが敵は[illegible]を衝かれて死體二千餘を遺棄して北江の上流及び南[illegible]地區に潰走した、同部隊は[illegible]に[illegible]線上の要衝河頭（翁源北方十[illegible]）附近の敵[illegible]

余漢謀軍主力に
決定的打擊を與ふ

南支軍發表

【廣東一日發同盟】南支派遣軍二日正午發表

一、敵の冬季攻勢に乘じ敢行したる我反擊作戰は極めて有利に進展し、我翼[illegible]兵團は所在の敵を擊破しつつ前進し、旬日を出でずして敵の[illegible]、三華鎭、英德附近の各要衝を[illegible]略し以て[illegible]余漢謀軍主力に決定的打擊を與へたり

二、今や軍は所期の目的を達成し我第一線近く敵を見ざるに至りしを以て今より徐々反轉し我包圍圈內に於て支那派遣軍の[illegible]にある多數の敗殘部隊を掃蕩[illegible]せんとす

三、老獪なる敵はその敗退を[illegible]せんがため、この[illegible]軍の自主的[illegible]を以て恰かも我を反擊せしが如く虛僞宣傳するを常套手段と[illegible]も皇軍[illegible]の[illegible]く全くその[illegible]せしめられたる事實は既に明かに證明せられたのみならず、今次我軍の企圖は[illegible]初[illegible]しが如く土地や[illegible]の占領に非ずして抗戰を敢へてする敵軍隊の殲滅にあり、從つて敵が再び敗兵を集め蠢動することあらんか時と所とを問はずこの種作戰を反復することにあるべし

四、一月一日までに判明せる戰果の概要左の如し

（一）捕獲せし敵兵力約十万

（二）遺棄せる敵の死體約一万五千

（三）捕虜約二千

（四）鹵獲品の主なるもの、迫擊砲八、重機關銃二〇、輕機關銃九五、高射機關銃三、小銃二千六百五十、彈藥は小銃彈九百万發をはじめとして各種彈藥を合し約一千二百万發に達し、敵が一ヶ年を費し四百八百有ゆる手段を盡して蓄積せしものを一擧に鹵獲しこれに依りて敵の抗戰力に與へたる打擊も又甚大なり

新春を壽ぐ
總督府新年式

[illegible]紀元二千六百年の新春を[illegible]く總督府新年式は一日午前九時より正[illegible]に於て小林總督、[illegible]長官代理以下總督府各官[illegible]列席にいとも嚴かに行はれた[illegible]學校等に於ても夫々嚴肅なる新年式を行した

外國領事の年賀を
小林總督が受く

小林總督は一日午前十時五十分官邸に於て[illegible]長官代理、千葉外務部長等侍立の下に台北駐在英、米伊、蘭各國領事の年賀を受けた

森岡長官離京

【東京三十一日發同盟】[illegible]て上京中の森岡總務長官は三十一日午後三時東京驛發歸台の途に就いた、[illegible]來に再び上京の[illegible]

平和再來切望
ハル米長官新年聲明

【ワシントン一日發同盟】ハル國務長官は一日前例のない新年聲明を發表し各方面の注目を惹いた、要旨左の通り

千九百四十年を迎へるに際し余の切に希望することは世界の各國が武力破壞の政策を[illegible]し[illegible]住に還つて平和の大道を進むことである、各國民が若し戰爭を止めて平和を求めるならばその求める道は開けてゐる、而して平和再來の暁においてはアメリカはアメリカ自身の利益のため[illegible]的[illegible]的に[illegible]するその[illegible]力を發揮して[illegible]且つ[illegible]的な世界新秩序の建設に努力する必要に迫られるだらう、蓋しこれなくしては國際關係は再び惡化し國際經濟[illegible]と[illegible]不安を醸成するに至り世界は再び戰禍に見舞はれるに至るだらうからである

近の鐵橋を爆破して敵の退路を遮斷するとともに同地附近の[illegible]を掃收し翁源、河頭を中心に頑強な抵抗を試みてゐた[illegible]に對し[illegible]的打擊を與へた

決定は四日頃
總督府特別會計豫算

台灣總督府特別會計豫算は元旦の[illegible]にも決定を見る筈であつたが[illegible]に[illegible]までに至らず、[illegible]計課より東京へ[illegible]した所によると、多分四日の政治[illegible]になるのではないかとの[illegible]であり、決定は今年に持ち越されることになつた

人事

▲松方正[illegible]氏（[illegible]社長）一日[illegible]日來臺（[illegible]ホテル）二日新竹[illegible]へ

▲[illegible]田一[illegible]氏（[illegible]）[illegible]社長と共に三十日來臺（[illegible]）

▲古[illegible]氏（[illegible]）一日內地より[illegible]三日[illegible]より來北（[illegible]ホテル）

▲[illegible]氏（[illegible]）一日[illegible]より來北（[illegible]ホテル）八日內地へ

▲[illegible]氏（[illegible]）三日來北（[illegible]ホテル）

▲[illegible]氏（[illegible]）一日[illegible]上京

▲[illegible]氏（[illegible]）一日來北

▲大田一夫氏（[illegible]）一日來北

▲[illegible]氏（[illegible]）一日來北（[illegible]ホテル）

▲[illegible]氏（[illegible]）三十一日[illegible]

▲加藤[illegible]氏（[illegible]）三十一日[illegible]方面に[illegible]

總督軍司令官
年賀の交換

紀元二千六百年の新春に當り牛島臺灣軍司令官は伏見、羽田、北尾、中原の各[illegible]を隨へ一日午前十時五十分官邸に小林總督を訪問、續いて小林總督は中村秘書官その他[illegible]を帶同官邸に軍司令官を訪問し[illegible]一致の力強い年賀の交換を爲した（寫眞は總督と軍司令官）

天無口

日本には、ヒトラーやムツソリニの樣な[illegible]い政治家は何時になつても出て來ない。これからでも出て來ないだらう。この[illegible]には[illegible]問題は無い[illegible]である▲[illegible]か？それはわが國[illegible]の[illegible]から來る自然の結果であつて、一時は日本にもアッシロ政治家やファッシロ內閣が現はれるだらうと考へられてゐたが、併し實際に出て來なかつたのはさういふものの出現する餘地も無い程に日本の國體は[illegible]るからである▲だから[illegible]の內閣が[illegible]く限に[illegible]に[illegible]りを[illegible]して[illegible]となつても國體そのものの[illegible]は微動だにしない[illegible]の如く[illegible]なのだから國民や[illegible]はビクともしない▲過去の我が內閣の[illegible]を見ても[illegible]い。[illegible]と[illegible]くのは[illegible]な[illegible]內閣であり、多くは一年そこそこ、短かいのは[illegible]で次から次と代つてゆく。[illegible]ると國民の方でも[illegible]政界の新陳代謝は、[illegible]たる內閣の[illegible]によつて行はれ、[illegible]を[illegible]けて行く――くらゐにあっさりと考へてゐる▲この[illegible]內閣も少々足元が[illegible]しく見られてゐるが、あの足つきで七十七議會を突破できたらと[illegible]――といふのが心ある國民の關心である。內閣の[illegible]なる[illegible]から見てゐると、大分アラも大きいのが[illegible]つかる[illegible]▲[illegible]の現狀は、[illegible]內閣の一昨年末から昨年正月へかけての[illegible]と[illegible]してゐる。そこで[illegible]始めの四日[illegible]が[illegible]されてゐる[illegible]だが、[illegible]內閣は成立して未だ四ヶ月餘り、[illegible]も此の間[illegible]工作をして[illegible]を[illegible]へたばかりなので今[illegible]に[illegible]といふのはよく[illegible]の理由でも無い限り[illegible]ない所だらう▲しかし國民[illegible]の側から云ふと、[illegible]の[illegible]に日本そのものの國[illegible]がガッチリしてゐるので大した支障は無い[illegible]、人情としては[illegible]內閣に今少し政治をウマくやつて貰つて、支那事變處理の上に[illegible]一つ[illegible]世に殘る樣な大きな仕事をやらせたいものである。

東京製 代表車
國際號自轉車
[illegible]

紀元二千六百年

謹賀新禧

（五十音順）

赤司初太郎
秋山孝之輔
有島健助
井坂孝
岡田幸三郎
金澤冬三郎
相馬半治
武智直道
武智勝
中村第三
藤山愛一郎
藤野幹
星一
益田太郎
松本眞平
益子逞輔
山瀬肇
吉田一郎

皇室の彌榮、國運隆昌
畏し天皇陛下御祈念
宮中元旦の諸御儀

大和建国の御聖業を欽仰し奉る紀元二千六百年の元旦、宮中におかせられては午前五時半四方拝に始めさせられて[illegible]新年の御儀を行はせられた、畏くも天皇陛下には午前五時過ぎ早くも[illegible]に[illegible]、[illegible]の御束帯を召され[illegible]長官先導申上げて神嘉殿南庭に下御[illegible]を照す中を出御、同五時半御座[illegible]の御拝座に着かせ給ひて神宮を始め 神武天皇 大正天皇の山陵、四方の神祇を御遙拝、国運の隆昌を御祈念あらせられて四方拝の儀を終へさせられ、同五時四十分より[illegible]神殿に御親拝[illegible]歳旦祭の儀を行はせられた、それより午前八時 陛下には御[illegible]を召され鳳凰間に出御、新年[illegible]の御膳に着かせられた が、大[illegible]にては 皇后陛下、[illegible]午前十時ローブモンタントの[illegible] はじめ 皇后陛下と御揃ひにて鳳凰間に出御、秩父宮同妃両殿下を始め奉り各皇族方に[illegible]新年の御祝詞を受けさせられた[illegible]皇族方を従へさせられて正殿に出御、一段に[illegible]らせられて[illegible]首相以下文武百官等の[illegible]を受けさせられた、かくて午後一時半からは米国大使グルー氏以下各国大公使同夫人に[illegible]式を終へさせられた、同日は[illegible]

新政權工作頓に進捗
國交調整の基本要項
完全に雙方意見一致

【東京二日發同盟】現下の政局と密接な關聯を持つ支那新中央政權樹立工作は汪兆銘氏側と現地當局との間で新政權に對する我方の援助方針並に新政權成立後に於ける新国交調整方針に關する基本要項につき、完全に意見の一致を見、現地當局から右に關する報告を齎し大本營、閣議の承認を求めるばかりとなつた、而して現地より[illegible]を帯して東上する現地當局の某要人は四日または五日と[illegible]されてゐるが直ちに右基本要項の内容[illegible]に入るとしても先づ興亞院會議その他の手續きが必要とされてゐるので閣議に附議して正式決定するまでには若干の時日を要すべく[illegible]七日若くは九日頃に閣議の承認を求めることとならう、[illegible]右基本要項が閣議の承認を得れば現地に於ては[illegible]汪兆銘、王克敏、梁鴻志の三首領會談が行はれ、引續いて中央政治會議の召集、新中央政府樹立の順序で進行する筈である

紀元二千六百年初日の出
（宮崎縣美々津港の日の出、神武天皇御東征御舟出の地）

共産主義を排撃
依然たる伊の對ソ感情

【パリ三十日發同盟特派員】二十八日ローマ發表法王ピオ十二世はイタリー國王エマヌエル三世を訪問、再び和平提議を行ふことに就き[illegible]會談が行はれその具體的方法と[illegible]してムッソリニ伊首相が一月四日ローマ法王を訪問することになると傳へて來たがそれは[illegible]なる風評の範囲を出でず、目下の歐洲情勢から推して斯かる會見に[illegible]ことはないものと觀られる、併しソ聯の對芬侵略を契機として[illegible]化して來たイタリーの反ソ感情は[illegible]緩和されずエマヌエル三世、ピオ十二世並にムッソリニ首相の三者間の意見は主として[illegible]

日本品に對し差別待遇せず
桑港税關に通達

【サンフランシスコ卅日發同盟】アメリカ政府は既に日米通商條約の失效後も日本品に對し差別的課税を課せぬ旨言明してゐるが二十九日商務省よりサンフランシスコ税關に對し正式右の趣旨を通達した、指令の内容次の通り

一八七二年九月よりグラント大統領の布告がその後保持された[illegible]なく從つて右布告は依然效力を有すと認むるをもつて今後[illegible]の指令なき限り日米通商條約失效後も日本船舶貨物に對し從來同一の[illegible]税など一切差別待遇をなさず從來同樣の取扱をなすべし

卅八億圓關門突破
日銀兌換券發行高

【東京三十一日發同盟】日銀兌換券發行高は三十日三十八億千七百[illegible]万円と遂に三十八億円關門を突破した[illegible]も十一億千八百万円と十一億円を突破するに至つた、これを前年末發行高三十[illegible]百万円に比すれば約十億円の膨脹である[illegible]に達し[illegible]の[illegible]に當る、一方日銀貸出も三十[illegible]日は二千七百万円を[illegible]貸出高は大體十一億円見當に達するものと見られ前年末[illegible]千百万円に比しこれ又[illegible]を示してゐる

拂込概算著增

【東京三十一日發同盟】[illegible]十四年度中の拂込[illegible]は總額七十八億九千四百[illegible]万円に上り前年に比し[illegible]六千八百[illegible]万円の[illegible]にを示してこの中[illegible]三十九億三百万円で事業を占め公社債[illegible]して[illegible]十一億千二百万円と[illegible]の[illegible]前年に比べ[illegible]四千八百万円[illegible]ブに相當増加を示し株式拂込も株式市場の活況を[illegible]二十二億[illegible]前年に比し三億[illegible]の増加を示した

[illegible]の[illegible]に一致しつつあり既にイタリー[illegible]はソ聯[illegible]の方面に[illegible]へて[illegible]の[illegible]にあると云はれ、一方[illegible]目下[illegible]のため[illegible]ものを利用してフランス[illegible]はドイツ軍と對峙する前線から五十粁の後方に新に防禦陣地を[illegible]築しつつある

國際問題錯綜す
蜿蜒七百餘哩　粤漢線の沿革

我が南支[illegible]は今や粤漢線南側地區から[illegible]北海、[illegible]を拠点[illegible]とする[illegible]各地[illegible]の[illegible]は既に時間の問題となつて居る、この機會に粤漢線の概要を紹介しよう

廣東を起點として蜿蜒七百二十一哩を北に走る粤漢線は廣東、株州、長沙を經て武昌に至り、その間廣東、湖南、湖北の三省にまたがり京漢線とは揚子江を隔てて武漢に於て連絡し南北相通して支那大陸を南北に縦貫する一大幹線をなしてゐる

同鐵道は廣東、武昌間の本線一、〇九六粁に支線たる廣三線（廣東、三水間）の五〇粁及び株州、萍鄉間八九粁を加へ總粁數一、二三五粁に及び、全支の國有鐵道一〇、一三三粁（滿洲國を除く）中の十分の一以上を占め、京漢線、隴海線と相並んで支那最大の長距離線路である、同線の建設は一八九六年京漢線建設着手當時張之洞、盛宣懷等がこれを發議したのに端を發し一九三六年四月末全線開通を見るに至るまで四十年、その間幾多の紆餘曲折を經たのであるが、今茲にその沿革を略述してみよう

◇

元來本鐵道は外人の手に路權の帰するのを防ぐ目的で、その敷設を企圖されたもので一八九八年建設案が清朝上奏を以て許可されると共に株式を募集したところ漸く一二〇〇万兩を得た、然しながらこれではまだ百万兩の不足であり、時恰も米国合興公司が時の駐米公使伍廷芳に鐵道資金貸付の運動をしてゐた際だつたので、遂にこの不足額に米国に仰ぐ事となり同年同公司より二千万米弗借款の契約を締結、更に一九〇〇年同公司との追加契約により借款を四千万米弗に增加し當初支那側の企圖した路權の外人帰屬防止は脆くも潰え米国に本鐵道の敷設權を握られる事となつた

◇

然し乍ら其の後義和團事件勃發等の為工事遅々として進まず、たまたま西江流域の交通頻繁なるに着目した三水地方の人民は粤漢本線の方を差措いて一九〇二年廣三線の建設に着手し同年廣東の對岸石圍塘、佛山間十四哩を竣工を見茲に廣三支線は粤漢本線建設の不評を尻目に南支に於ける最初の鐵道としてデヴュー したのである、而して本線の工事は依然遅延し、加之全支に利権回收熱が擡頭として起り年と共に[illegible]となるに至つたので[illegible]清國政府は米国退出しには成功したもの支拂能力なく為に同年九月張之洞（湖南）岑春煊（廣東）兩總督は香港上海銀行より百十五万磅の借款を契約し同鐵道を廣東、湖南、湖北の三省の分擔として敷設することとなつた、この結果

一、兩今[illegible]に於て他國の[illegible]山の利権を[illegible]する時は必ず之を英国に[illegible]すること

一、[illegible]清國が[illegible]に於て[illegible]及び[illegible]鐵道を[illegible]するときは英國の資本に依つべきこと

を約し遂に英國をして過去の約を占めしめ[illegible]

◇

然しながら關係各省とも元利金償還に追はれ、又常に建設資金の不足で[illegible]し一九〇七年漸く廣東、江村間十二哩を竣工したが再び外債の必要に迫られ一九〇九年ドイツ獨亜銀行に三百万磅の借款を交渉したが英国の策動にあひ一九一一年英國は米佛を誘つて本借款に加入せしめ英米獨佛四國借款六百万磅が成立、同年長沙、株州間の敷設を見た、飛んで一九一三年江村、黎洞間、株州、漆口間完成、一九一八年武昌、長沙間が開通したが資金難、建設工事の難事業、内亂等で工事頓挫不可能となり工事放棄の止むなきに至つた爾來十年間工事放棄の儘過ぎたが一九二八年に至り国民政府はこの鐵道の重要性を痛感し、之が積極的工事を進める事となり同年十一月以來建設資金に取掛り同鐵道の工作は漸次活潑となつて來た、即ち一九三三年十月英国と七千万元の借款契約を成立せしめ更に一九三三年七月には中央[illegible]英國資本の[illegible]との間に[illegible]を締結した

◇

鐵道用機械[illegible]の一六六万磅、建設資材として三千万元の借款が成立した、斯くて鐵道部では十万の人夫を使用し一九三五年度を期して完成せしむべく工事を急ぎ三年韶州、樂昌間の工事完成、[illegible]ようラストコースたる樂昌、株州間の工事に入り區間を六區に分けて馬力をかけた結果一九三六年四月末同區間も開通し本線の實際起工より三十一年目には全線の開通を見たのである

◇

斯くの如く當初遅々として進まなかつた本鐵道の工事もラストコースに近づくに從ひ俄然拍車をかけ早急に全線の開通を見るに至つた事は日支時局の重大化があづかつて力あつた事は言ふまでもなく、又本鐵道開通迄の經緯を見ても明瞭な如く[illegible]ところに英國側の手が伸びてをり、英國資本を中心に構成されてゐることは注目に値する

◇

從來粤漢線は管理上の必要から武長段（武昌長沙間）長株段（長沙、株州間）株韶段（株州、韶關間）及び廣韶段（韶關、廣東間）の四區間に區分されたが、粤漢線南段は廣東省を南北に縦貫する部分即ち廣韶段に株韶段に屬する韶關坪石間を加へた約三百キロの區間を指し所要時間約十一時間半、此間の主要驛を擧げれば黄沙（廣東）西村、小坪、大朗、江村、[illegible]、銀盞、迎嘴、源潭、[illegible]、[illegible]、連江、波羅坑、[illegible]、河頭、沙口、大坑、烏石、[illegible]、韶關、黎鋪頭、[illegible]、樂昌、坪石等で坪石は廣東省内粤漢線の最北端に當る

◇

廣韶段も近年は貨物の輸送が激増し、鐵道收入も大打撃を受けるに至つたが、往年は貨物の輸送極めて旺盛で北江上流地方より林木、鑛石、牛豚、[illegible]等を、又廣東下流地方より食鹽、米等を輸送して相互に供給相通じ繁盛を極めたものである

同粤漢線南段では右廣韶段の外に支線として廣三線（石圍塘、三水間、四十九粁、所要時間約一時間半）及び[illegible]、[illegible]間（一粁二一所要時間五分）の二線がある

歐洲へ使して（下）
海軍大將　大角岑生

船はナポリを出て、一日おいて九月十八日マルセイユに着いた、こには[illegible]をしてゐる國だけあつて相當に警戒をしてをり、港は完全な燈火管制が實施されてゐた、パリでは婦女子二百万が避難したといふことであつた、また傭兵は盛んに召集されアラビヤ人が避難で、フランスを去るため、人手が不足してゐるといふことであつた、その後ドイツの潜水艦がイギリスの航空母艦カレージャス號を撃沈したといふ報道を得た、和根丸はここで、石炭を積込むことになつてゐたが、石炭の補給はなかなかやかましくてたうとう一日出港を延期し船中の努力で漸く解決して九月二十三日にジブラルタルに寄り石炭を積んで出港したのであった

時間が遅れたが上陸せずそのまま出港、翌日アフリカ北西海岸のカサブランカといふ港へついた、カサブランカはフランス領モロッコでなかなか立派な市街であつた白亜の家が美しく立ちならんで近代的の明るい街だ

ここカサブランカには昨年日本の綿布が約一千万円入つてゐるときいて、戰時とはいへ日本の經濟力がモロッコまで伸びてゐるのに力強く感じた、この港にはフランスの驅逐艦および潜水艦が在泊してをり、またポーランドの練習艦が入港してをり、無制限な候補生たちがボートを漕いでゐるのをみて故國を失つた若人たちは、何を考へてゐるのだらうと感慨深いものがあつた

船はそれから北上して、警戒を厳しくして潜水艦の危險の多い海面を日章旗を照らしながら航行して、九月卅日イギリスのリバープールに入港した、九月三十日といへば、もうポーランドにおける軍事行動は殆ど一段落を告げた時であつた、そのリバープールで第一に眼についたのは、青空に銀色に浮いてゐる多くの氣球であつた、これは空襲に備へるためである

多くの人々が船に訪ねて來た、それらの人々は手に四角な箱をもつてゐた、私は最初これを寫眞機と思つたところ、ガスマスクであるとのことで、イギリスではこれを持つてゐないと、罰金をとられるといふ話である

船は十日間ばかり碇泊し、しかもその期間内に留まることは規則で禁止されてゐるとかで、乘客一同は陸上のホテルに收容されることになつた、私どもは大使や武官の勧めもあり、單なる旅行者としてロンドンへ赴いた、實はフランスでも時局柄、一切公人とは會はぬことにしたのであるが、イギリスでもその方針で、全く非公式に行動することにした、ロンドンでもその上空には氣球が沢山あがつてをり、また所々に高射砲が据ゑてあり、公園とか廣場には防空壕が作られ燈火管制は完全に行はれ如何にも戰爭氣分が漲つてゐた、また、電報も、電話も、英文以外は受附けず新聞はどれをみてもうつかり記事が同じで厳重な檢閲なことが察せられ、首相を捉へることはなかなかむつかしく感じた、たとへ言論自由のデモクラシーの国といへども、ドイツやイタリーとあまり變りはない統制國家になつてゐることに氣がついた

ロンドンでは、ドイツの空襲を非常におそれてゐたが、英獨兩空軍は未だ都市に對する空襲はやつてゐなかつた、そればかりでなく兩軍とも、敵の軍隊、艦艇、軍事施設に對して未だ大規模の空襲を敢行したといふことを聞かなかつた、これは、一般の豫想と違つてをり何時までもこんな風の戰爭が續くかどうか、ただ時がこれに解答を與へて與れるであらう

イギリスもドイツも、その海軍力をもつて互ひに封鎖する一方、宣傳によつて、敵の人心を攪乱することのやうに見えた、そして、出來るだけ消耗を避け長期戰に堪へることに努力してゐるやうだ

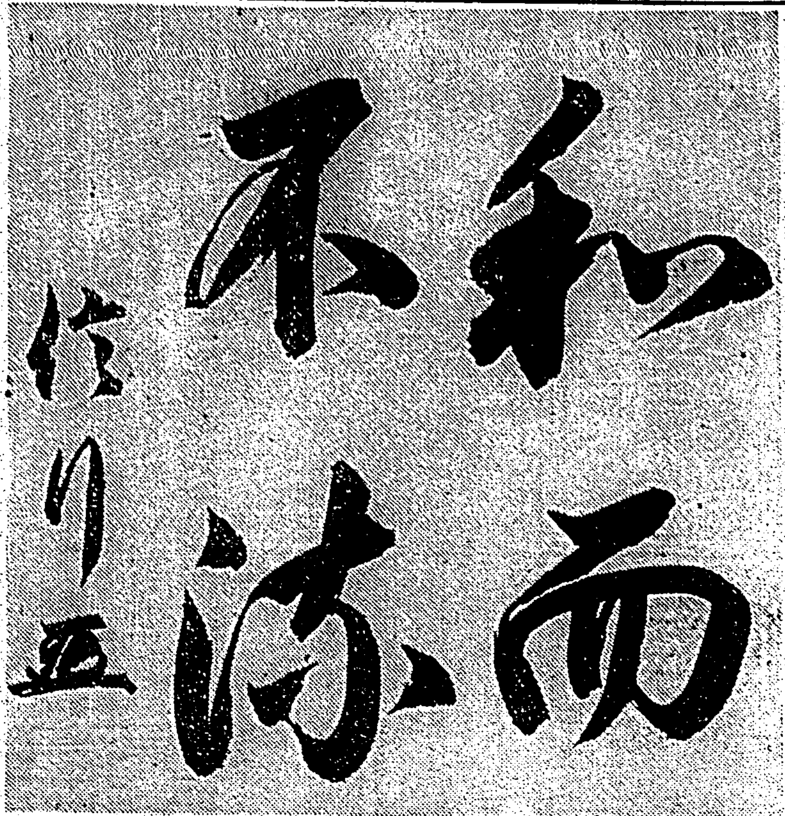
ドイツの海軍は再建以來日が淺くイギリスと較べるとずつと小さいが、その潜水艦と袖珍戰艦がイギリスの軍艦および商船に相當の損害を與へてゐる、また所謂袖珍戰艦でイギリスの商船を沈めたり、拿捕したりしてゐるやうだ、その種のドイッチュラントといふ軍艦に私どもの乘船和根丸は偶然にも太平洋の眞中で出逢つた、その時、どこの國の軍艦とも判らず、相當大きい軍艦が高速力で和根丸に近づいて來て八千メートル（約二里）ばかりのところまで來るとくるりと反轉して、遠ざかり、夕闇の中にその姿をかくしてしまつた、國籍は判らず、その當時アメリカも自國商船隊のため軍艦を出したとの情報を得てゐたので、或ひはアメリカの軍艦かも知れないと思つてゐた、その後軍艦の高眞と隨員の小野中佐がスケッチしたものとを較べ、またドイッチュラントが大西洋で活躍した新聞記事とを併せ考へると、私どもが出會つた艦はドイッチュラントに間違ひないことが判つた

このドイッチュラントの艦長は一昨年まで大使館附武官として日本にをり、私もよく知つてゐるヴェネカー大佐で、今少將に昇進して艦長をしてゐる人である、この種の袖珍戰艦は三隻あり、そのうちの一隻はこの十二月中旬、南米モンテヴィデオ沖でイギリス巡洋艦三隻と交戰し、その沖合で自爆したシュペー號である

同行の寺内大將とはナポリで別れたまま、横濱へ着いて何十日ぶりで會つた、寺内大將は陸軍の戰線を視察され、ヒトラー總統にも會つたさうだが、私はかうして海ばかり見てきた、これも海軍だから致し方もあるまい

しかしひるがへつて見ると、戰爭をしてゐるのはヨーロッパばかりではない、日本も明けて聖戰第四年を迎へたのだ、この際國民一人殘らず日本は我れ一人の双肩にあるのだといふしつかりした心構へをもつて、紀元二千六百年の光輝かしい第一歩を踏み出して貰ひたいものだ

（寫眞は大角海軍大將）



和而不流　阿部首相試筆

●三河商行合資會社（支店追加）昭和拾四年拾貳月拾八日總社員ノ同意ニ依リ解散ス
●株式會社（設立）[illegible]
[illegible]
●合名會社（設立）[illegible]
●株式會社（拂込）[illegible]
●合資會社東和運送店（追加）[illegible]
●株式會社[illegible]（支店移轉及變更）[illegible]
●合資會社（設立）[illegible]
右昭和拾四年拾貳月參拾日登記　臺北地方法院基隆出張所

第四拾參回決算公告
自昭和十四年六月 至昭和十四年十二月
資産之部／負債之部
[illegible]
日華紡織株式會社
追而役員補缺選擧ノ結果取締役ニ寺田中治氏監査役ニ橫田[illegible]就任セリ
取締役會ニ於テ社長ニ[illegible]選任シ[illegible]

賀正
基隆郡瑞芳庄九分
九分華僑民公會

ハツユメハ
ウレシイ
グリコノ
ユメダッタ

大阪商船　臺灣出帆
[illegible]
東亞海運　基隆出帆
[illegible]
日本郵船　基隆出帆
[illegible]
辰馬汽船　出帆
辰宮丸　一月十三日
辰鳳丸　一月十八日
大連汽船　基隆出帆
大連直行
山西丸　一月十二日
臺北出張所八八八九
丸一組

祝紀元貳千六百年
海外三千萬ヲ輝ス
日出ル國二千歳まで存命で暮しませう
昭和十五年元旦
臺北市榮町
松井呉服店

ぜん息・神經痛や
中風・高血壓
「不治でない」
新年を壽いて
今津博士・新研究發表

（研究中の今津博士）

[illegible]
今津研究所

謹賀新年
保證責任　山脚信用購買販賣利用組合　電話新莊二十八番
臺灣羅東街一四七
材木商　利瑞山商行
海山郡中和庄役場
中和信用販賣購買利用組合
海山[illegible]會社中和工場
海山郡中和庄協議會員（イロハ順）
游景華　游東波　游文啓　游興仁　呂傳寅　二改男　陳新墻
林堂燦　林泉水　簡雲龍　許加　江讃慶　江輝元　蔡生木
臺中市榮町貳ノ[illegible]
浪花旅館
浮田シヅ
電話數、〇五七番
臺北市太平町參丁目蓬萊閣筋
カフエー　孔雀
電話　七六〇五
臺灣料理と喫茶
山水亭
臺北市太平町參丁目
電話四九七六番
潮州郡日用食料品組合

謹迎皇紀二千六百年春

池田好治
今道定治郎
新見喜三
堀江淳一
田村作太郎
栗原榮次
藤江醇三郎
神戶駒一
紺田隆太郎
近藤藤太郎
江原節郎
森秀雄
廣畑虎市

臺灣日產自動車株式會社

有限責任
臺北庶民信用組合
臺北州廳構內　[illegible]

臺北醫師會

臺灣齒科醫協會

臺北州齒科醫協會
臺北支部
基隆支部
蘭陽支部

株式會社
東亞商工公司
臺北市榮町壹丁目七番地
電話四七貳〇八番

賀詞
吉本商店
臺北市表町貳丁目貳番地
電話 [illegible]

株式會社
高砂商店
臺北市本町二丁目二十六番地
電話 [illegible]

士林街福德洋一三三
臺灣製紙株式會社
電話貳七六 [illegible]
士林工場
電話貳〇參八番

雜貨化粧品御問屋
神木洋行
[illegible]

建築材料
淺野スレート工事部
菊入鐵吉
臺北市北門町
電話 [illegible]

羅紗、麻布、ス・フ、人絹布卸及輸出商
臺灣特產各種纖維取扱
株式會社
松本商行
臺北市京町二丁目三十番地
電話 [illegible]
支店
拓殖部
[illegible]

徵兵保險
敎育結婚保險
第一徵兵保險株式會社臺北支部
臺北市京町四丁目一
電話 [illegible]

土地建物賣買貸借管理仲介
常磐信託商會
臺北市大和町一丁目五番地
池上寄兵衛
電話 [illegible]

臺北市表町壹丁目
臺灣コークス株式會社
電話貳壹壹參番

オフセット・石版各種印刷
ワタヌキ印刷所
臺北市 [illegible]
電話 [illegible]

純良醬油
日本醬油株式會社
臺北市 [illegible]

活版 石版 凸版 木版 寫眞版
印刷
盛文社
臺北市 [illegible]
電話貳八七九番

株式會社
守谷商會臺灣支店
臺北市本町一丁目四〇番地
電話 [illegible]

臺北市新富町五丁目五〇
臺北鐵道株式會社
電話貳壹九八番

吉岡德松商店
臺北市表町一丁目貳拾番地
電話 [illegible]

臺北市綠町四丁目
臺灣石鹼合資會社
井上權七

臺協商事株式會社
本社　臺北市新起町二ノ一四
出張所　中壢、臺中、員林、高雄

株式會社
東亞商工公司
臺北市榮町一丁目七番地
電話 [illegible]

臺北市建成町四ノ一四
臺灣赤糖同業組合
電話四參〇四番

臺北市京町一丁目四五番地
山岡內燃機株式會社臺北支店
本社　大阪市北區茶石町
支店、出張所　東京、福岡、宮城、旭川、金澤、臺灣
電話 [illegible]

臺北市綠町四丁目參番地
帝國酸素株式會社臺北支社
電話四六貳七番

臺北市大和町壹丁目
福助足袋臺灣販賣株式會社

印刷インキ
龍印印刷用インキ製造元
川村インキ臺北出張所
臺北市本町參丁目 [illegible]

醫療器械商
山田商店臺北出張所
臺北市本町貳丁目四拾參番地
電話五七〇八番

和洋紙文房具卸商
今小川紙商店
臺北市本町貳丁目參參番地
電話 [illegible]

臺北市京町貳ノ貳參
資生堂臺灣販賣株式會社
電話五壹〇壹番

綿布商
臺北市太平町貳丁目八番地
星加商行
電話參〇六〇番

耐火煉瓦
耐火モルタル
耐火接合劑
火山灰砂
臺北市壽町參丁目九番地
臺灣耐火工業合資會社
工場　臺北州七星郡關渡

人力車タイヤ販賣
臺北市大和町壹丁目
串本金次郎商店
電話 [illegible]

臺北市京町四丁目
東來商行
電話 [illegible]

臺北印刻業組合

臺北南人力車營業組合
電話參四〇參番

臺北市本町 [illegible]
中島商店
店主　中島 [illegible]
支店　中島分店

臺北市 [illegible] 參丁目八番地
有限責任
興財信用組合
電話四〇壹七番

臺北市本町貳ノ [illegible]
高橋信託商會
高橋外次郎

臺灣臺北市表町 [illegible] 番地
三共株式會社臺灣出張所

臺北市表町貳ノ貳參
神戶組
電話 [illegible]

臺北市榮町參丁目
杉田書店
杉田英
電話貳貳九六八番

富士タクシー株式會社
臺北市 [illegible]

大新自動車株式會社
[illegible]

臺北市榮町貳丁目
富士屋菓子舖
電話貳六四七番

臺北市榮町壹五四ノ參
富士屋製菓工場
電話貳九七參番

臺灣書籍雜誌商組合

臺北材木商組合

（いろは順）

池山材木店
濱崎材木店
龜田材木店
中森材木店
植松材木店
松岡材木店
牧田材木店
兒玉材木店
惠比壽商會
櫻井組材木部
（[illegible]）臺北材木支店
三浦材木店

生花造花
花源
臺北市西門町壹ノ壹五
電話參四五八番

臺灣故銅株式會社
[illegible]
本社　臺北市 [illegible]
出張所　[illegible]

株式會社
島津製作所臺北出張所
臺北市本町 [illegible]
本店　京都市 [illegible]

株式會社
林瑞記商行
林旺

小石川履物店
小石川悅三

祖父江商店

下野盛豐堂

眼鏡專門
臺北市京町貳丁目
久松メガネ店

南國自轉車商店
興亞工務所

大東電氣商會
成和

製帽專門
龜田帽子店

ラヂオ機械
臺北市本町四丁目
中川章輔商會

內地への御土產品は
京町壹丁目
南國物產商會

和洋帳簿
雜誌製本
王盛製本所

江里口德市商店
電話參參四七番

天幕シート
美坐商行

表具師
高見太陽堂

神島兼吉

臺灣總督府專賣局指定
特殊食鹽元賣捌人
柳井伊左衛門
臺北市新富町五ノ一四二

臺北市千歲町參丁目四拾貳番地
臺灣酸素合名會社
電話 [illegible]

臺北市北門町七番地
植松材木店
電話 [illegible]

臺北市京町三丁目
實用家具は
杉本家具店
電話二五〇三番

臺北市末廣町四ノ一
オフセット
田淵石版印刷所
電話四七四七番

ミカド襖臺灣全島特約店
建具表具商
葛西貞二商店
臺北市新起町 [illegible]

日本水產理研臺灣支所
コンリオン
オオコンリオン發賣元
高尾貞藏
臺北市西門町 [illegible]

臺北湯屋組合

有限責任
臺北市兒玉町三丁目三番地
城南信用組合

公設
御成町食料品小賣市場
公商會員一同

包裝材料ブライニウム製造元
東邦ブライニウム株式會社
臺北市 [illegible]

臺北市本町參丁目七番地
臺灣產業資源株式會社
支店　[illegible]
出張所　[illegible]

合資會社
臺北市京町參丁目壹番地
淺沼商會臺北出張所
電話四九六貳番

製麻組合
麻袋販賣所

樺山驛運送業組合

員林郡守
田中鐵太郎

員林郡
埔鹽庄協議會員
（順不同）
林看
施萬示
陳鐘
康三碧
施修盞
內田宗四郎
陳五十男
陳海下
陳通寬
施文
施有
陳天佑
施長溪
陳壽山

澎湖廳
今田卓爾
南爲藏
村田安治郎
家村清

澎湖醫院
野中松次郎

馬公
大本文吉

馬公
田中保德

馬公
東鄉忠志

澎湖廳
濱石秀雄

馬公街役場
三浦光次
副島官市
大塚忠太
高橋周平

湖西庄長
前田精男

望安庄長
西伊太郎

白沙庄長
張懷

西嶼庄長
鍾鉅

醫師
伊東正成
馬公
電話貳六番

馬公
成田豐勝
電話四八番

馬公
高橋俊平
電話五參番

恒春郡守　**西元坂一**
[illegible]　尾山充雄
[illegible]　宮城久安

恒春郡恒春庄
庄長　深川佐市
[illegible]

恒春郡車城庄
[illegible]

恒春郡滿州庄
[illegible]

恒春信用購買販賣利用組合

車城信用購買販賣利用組合

潮州信用購買販賣利用組合

土城庄長　**菊池清作**
同助役　呂傳濤
同會計役　藍川
外吏員一同

保證責任
土城信用購買販賣利用組合
組合長　羅太容
專務理事　林澄波
組合員一同

土城茶業組合
組合長　張鮮傳
外組合員一同

員林郡 [illegible]
江[illegible]木

員林郡 [illegible]
黃三井

員林郡 [illegible]
勝德商行
電話六九番

員林郡 [illegible]
日月堂藥房
代表者　[illegible]

製茶業
溫月星
竹南郡 [illegible]

竹南郡 [illegible]
華南商行

竹南炭業公司
電話五番

北斗郡 [illegible]
陳七

北斗街
宮里政幸

北斗郡北斗街
游吳氏阿娥

北斗郡北斗街
林成宗

北斗街
劉正

北斗街
文山ホテル

林石定

陳能達

鄭西當

許仁興

許新出

聯源工場

沙山庄
洪吉慶

馬公
赤田豐
電話壹四五番

運送 船舶 保險代理 土木建築 勞力供給 セメント 石炭販賣
馬公本店
澎湖島商船組
高雄出張所
山上組

馬公
上瀧柳作

海軍糧食品御用達
馬公
西室昂
電話貳七九番

馬公街協議會員
陳伯寮

馬公街協議會員
黃見享

馬公街協議會員
黃慶賜

馬公街協議會員
黃財隆

馬公街協議會員
高添財

內科小兒科
片山醫院

澎湖廳庶務課一同

澎湖廳稅務課一同

海軍糧食品御用達
馬公
山口信行商店
電話參參番

食料品御小賣
中國商店
馬公 [illegible]

馬公街馬公
會席御料理
寶來
電話三五番

紺元洋服店

日用食料品部
榮興本店
馬公城外

澎湖廳水產會

臺灣合同電氣株式會社澎湖營業所

保證責任
馬公信用組合

澎湖交通株式會社
電話四〇番

馬公料理屋組合

藍木商店

請負業
錦香組

保證責任
澎湖建築信用組合

澎湖鮮魚公司

澎湖廳馬公街城外
馬公貸座敷組合

激流 (62)

（承前）

久生十蘭作
伊勢良夫畫

疑　惑（九）

生れてから初めて他人と向き合つて話したのは、あたし達きりよかなかつたなどといふのは、嘘でなければ誇張してゐるのだとしか思へないやうなことだつた。

また、これらの時間が外したのだとすれば、どんな厳格な人たちからも、きまつて非難されまいと思はれるほど水際立つてゐる。

しかし、眞砂のやうすを見ると、別に困つてゐるやうすも、照れてゐるやうすもない。

自分で自分の言つたことが可笑しくなつたらしく、眞砂は笑ひながらクスクスと笑ひ出した。

「ずゐぶん妙ですわね。許していただけないのかも知れませんけど、でも、ほんたうのことなんですもの」

「その点に、そんなことがあらうなんて、それは信じられないくらゐよ」

「――姉妹の優しい[illegible]せて、それに、ずつと病院にばかり引込んでゐたからですの。――その点だけでは、たいへん損をしてゐたわけですわね」

こちらの話に合槌を打つてもらしく、口ではそんな風に言つてゐるやうすはどこにもない。それどころか、眞砂の生活がどんなに愉快だつたのか、[illegible]出来なかつた。

[illegible]誠實な態度にて、[illegible]して、それとなく中斷して見ても果して成功するかどうか疑はない程だつた。

「まあ、それぢや、たいへんな。これから大分さで、いろんなことをお知りにならなくてはならないわけね」

眞砂は、しづかに聞き返した。

「いろいろなことつて、どんなことですの？」

「平凡なところでは、月山さんのことなんかでも、あなたのご存じないやうなことがいろいろあるのぢやないかしら」

ちよつと言ひ過ぎたかなと思つて、チラと瞭子の方を見ると、瞭子は、いつものやうな無關心な顔つきで、ブロンの小説本の頁外に眼を落して何かせつせと[illegible]なから、二人の會話から全然孤立を守つてゐた。

瞭子は、どうちみち眞砂の味方ではなく、それに、はつきりした興味も感じて、中年の紳士なんかとばかり結んで歩くやうな性質なのだから、すこしくらゐ突き込んだことを言つても、眞砂、氣にとめることもないのだらうと思つて話しつづけた。

「男と女の友情なんて、[illegible]する暇もないのに、瞭子さんと月山さんの友情は、よく、こんなに長く、無事につづいたものね。その点、ちよつと信じられないほど見事なものだつたわね。……理想的と言つていいくらゐ」

眞砂は、ちよつと眼を瞠つて見せた。

驚いたのではなく、これも相手を外らさないための一種の儀禮なのらしかつた。

（なんといふ落着きさ加減なんだらう―）

瞭子は、あせり気味になつて、

「あんなひたむきな友情なんてこの世にあるのかしら、お互ひの氣持と、誠實と、惜しみない獻身……ちよつと信心の作用と言つてもいいやうなところがあつたわ。……ほんたうに、あんなに愛されるお互同志なんて見たことがない。お互ひが、相手の生活の中でだけ生きてゐるといふやうな、そんな風だつたの―」

と、言つて、瞭子に、

「ねえ、瞭子さん、さうだつたわね。あなたもよくご存じでせう」

瞭子は、氣のない調子で、

「さあ、どうかしら。あたし離れたところに住んでゐるから、二人がどんなことをしてゐるか知らないけど。……でも、あんなのが友情といふのかなア。もし、あれが友情なら妙な友情もあるもんだ。逢ふと二人で溜息ばかり吐いてゐるんだ。へんだぜ、まつたく」

勇士と妹の歌

從軍詩日記（十）

時雨音羽

白川ぶし（前作）
月波みどり

またも一躍[illegible]
アア飲らずな
莫来の煙花
手柄も立てず
胴に勲
男涙の血のひびき
アア俺等にや
日の丸ついてゐる

雙眼に浮ませ
凶弾のひびきを
うつつにきいて
心床しや戰日記
アア涙で
賴けない戰友のこと
〃
曠野ひろびろ
只月ばかり
風に吹かれてさむざむと
アア戰滅
死んで國護

勇士と妹

幾月振りで見る港
町も街も變られど
白衣に包む
身となれば
軍歌もヒシと胸を打つ

妹「兄さん私泣かないわ、兄さんは、立派にお國のお役に、立つたんですもの。兄さん！何故泣くの――泣いちやいけない！泣いちやいけない！兄さんは偉いのよ、兄さんは強いのよ、そして私は兄さんの妹……。

わかれし戰友よ戰場よ
仆れしときの野の花は
血汐に今も咲くであろ
思へば夢の
きのふけふ

妹「水車は兄さんを待ちながら廻つてゐますわ。兄さんは、村の英雄よ！おれがひだから、お母さんへは、お眼が無くつても、我慢して見せてあげて下さいね。さアけふからは、私が兄さんの杖よ。ああア、夕焼――

故郷の山よ丘が家よ
變らぬなさけ
杖として
ふたたび起つ日
待ちながら
祖国の愛に今ぞ泣く

戰場ぶし

故郷に殘した
花嫁を
思ひ出すよぢや
不忠者
といふて忘れりや
薄情者
ふふふん　出来ちよるゾ　ヨカヨカ
〃
デカイ手柄を
たてるまで
可愛いがられちや
チト困る
敵の地雷火
流れ弾丸
ふふふん　出来ちよるゾ　ヨカヨカ
〃
ねむけざましの
機關銃
たとへしばしの
仮寝でも
きかにや淋しい
[illegible]
ふふふん　出来ちよるゾ　ヨカヨカ
〃
無事で凱旋
待つあの娘
戰地みやげは
鉄の胴
たてた手柄の
胸の勲
ふふふん　出来ちよるゾ　ヨカヨカ

この部屋は、まるで牢獄みたいだ。以前は何んであつたのだらうか？窓の格子には、鉄格がはまり薄黒く汚れた壁には、メンテスの爪の跡でもありさうである

○○大酒店（酒店は旅館の事ださうだ）の、住客規則といふのが、額に入れて吊してある、その第四に漢文で、火事や水難、盗難、盜や鼠に咬まれたのは、一切賠償に應ぜずとある、眼物云々とあるから、懐中物の銀の事だらうが、鼠云々は笑はせる

部屋の隅に、壺が一つ置いてある支那家屋では一番に、この壺にお目にかかる事が多い、これは即ち小物壺、或は小便壺である、小便ばかりでない場合もあるさうだが兎に角日本人にとつては、氣持りな壺である、眞夜中に、何も紙蓋と僕も用ひてみたが、見當をつけるに一寸骨折れた、第一ジャワくと音がして眠る氣持ちが惡い

窓から見ると、空は曇つてゐるが雨もあがりだ

明日から命がけで、飛び廻らねばならぬ、どこでどうならうとも、見苦しくないやうにと、下着の交換の用意をする

出發の折にシャツ、パンツ、越中褌の類は、充分に用意して來たそのうちに、軍慰問用の〝弾よけ褌〟といふのがある、慰問袋には必ずこれを入れてやつたものだが今僕が用ひてみると、なるほどうちや、ワンタルテンである、短いことお話にならず、迚も実用にも何にも、なつたもんぢやない、僕が體が大きい為もあらうが、さりとて兵隊さんは、小男とは限らない、こんなものを纏つた兵隊さんは、苦笑してゐるだらう、これはしかし、笑ひごつちやない、誠にでも用ひられてこそ、実用品である、こんなのが、數千本戰地へ、送られてゐる事だらうが、スフ入りで、丈も短かいと來ちや、一體どんな事になるだらう？

鉄兜だ！

機關銃は近いぞオ！

タ、タ、タ、タ、タァー

パン！パン！

僕は褌のまま、窓へかけ寄つた、二言、三言、人の呼びごえが、遠くの方でしたがそれつきり靜かになつた

窓のきれ目から、星が一つのぞいてゐる

ラヂオ

朝

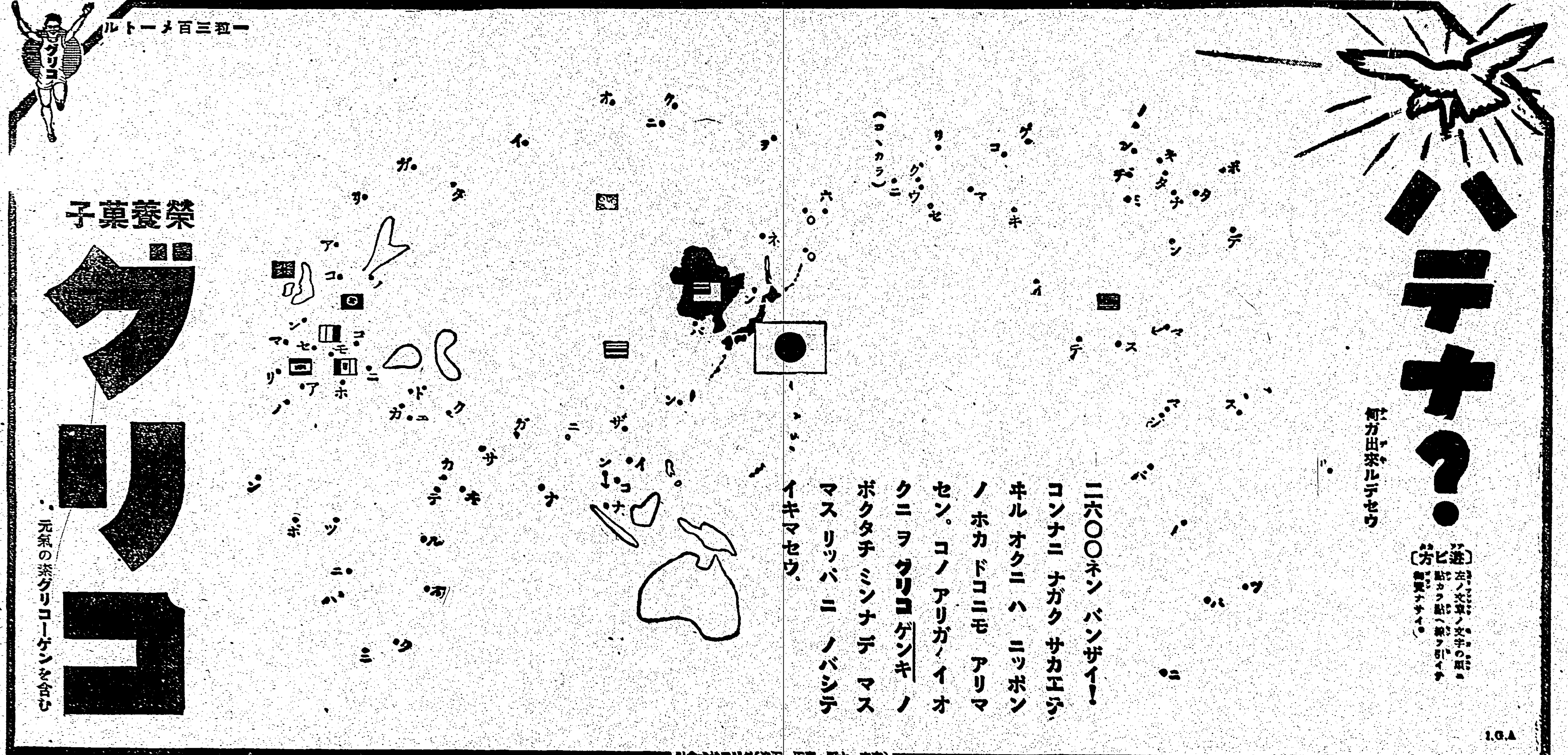
【七・一〇】朝の挨拶、ラヂオ體操、朝の音楽（レコード）獨唱・三浦環、勝ちて還れ（三浦環作詞、ヴエルデイ作曲）月のバルカローレ（服部龍太郎作詞、古關裕而作曲）
【八・〇〇】ニュース
【九・二五】內臺定期船大和丸基隆入港時刻及夜行列車時刻
【九・三〇】子供の時間（東京）お琴と長唄 一、箏曲―オメデタウ他大曲・中井滋子他 二、長唄越後獅子―[illegible]
【一〇・〇〇】講演（大阪）皇國を讃へる歌（一）川田順
【一〇・三〇】歌劇の選（[illegible]）[illegible]より中繼）

晝

【一一・五九】正午の時報（東京）內臺定期船大和丸基隆入港時刻及夜間列車時刻公示価告知事項、局報、午後の放送番組發表（各局）
【〇・一〇】新年子供大會（臺北）一、童謡・臺北子供唱歌隊 二、お琴…白鳥栄、中村多恵子 三、ピアノ獨奏…高木照子 四、落し話…行成弘三 五、童話劇…小鳥の森會
【〇・四〇】ニュース
【〇・五〇】全島中等學校選拔野球大會―（臺中）臺中市水源地野球場より中繼―臺北大雨延期、定時放送には中止す、野球なき場合は次の放送を行ふ…實況アナウンサー、田井アナウンサー、原田アナウンサー
【一・〇〇】謡曲（東京）田沼文子 出世景…論田伯誦
【一・四〇】琵琶（東京）吉村岳城
【二・一〇】ラヂオ風景（大阪）市川春代他
【三・〇〇】ニュース、歌謡曲（東京）一（イ）鈴蘭の唄（ロ）涙の千羽…（ハ）花と兵隊 三（イ）長崎物語（ロ）涙のブルース…由利あけみ 四（イ）誕田の雪（ロ）霜坂月夜（ハ）[illegible]…市丸、三味線―[illegible]、合唱―日本ビクター合唱團、伴奏―東京放送管絃樂團、指揮―山田栄一
【三・三〇】廣東語ニュース
【五・三〇】ニュース
【六・〇〇】子供の時間（大阪）童謡劇―暁の行進…若草コドモ會
【六・二五】講演（東京）國史の特質（二）文學博士平泉澄

夜

【七・〇〇】子供の時間（臺北）獨唱―お山スゴロク（白川節子作）白菊合唱團、伴奏―臺北ラヂオオーケストラ
【七・二〇】ニュース
【七・三〇】講演（東京）今年への期待…鐵道大臣永田秀次郎
【八・〇〇】獨唱、合唱朗詠と管絃樂（大阪）美々津の御船出（佐々木信綱作詞、宮原禎次作曲）獨唱奥田良三、矢田部勁吉、加藤千恵、大阪放送交響樂團、指揮―宮原禎次
【八・三〇】ラヂオ・ドラマ（東京）かもめ丸（伊馬鵜平作）辻辰丸山定夫　息子　北澤彪
【九・〇五】長唄（東京）勧進帳…唄―松永和風、松永和三郎他、三味線―杵屋栄二、杵屋和一郎、杵屋和三次、お囃子梅屋竹次他
【九・三九】九・四〇時報（東京）
【九・四一】講演（臺北）涼め上流せよ…三田定則
【一〇・〇〇】廣東語ニュース
【一〇・二〇】國語ニュース、公示通告事項、新聞社提供ニュース、局報、明日の放送番組發表（各局）
【一一・〇五】英語ニュース
【一一・二〇】北京語ニュース
【一一・三〇】廣東語ニュース
【一一・五〇】馬來語ニュース


一粒三百メートル

ハテナ？

何ガ出來ルデセウ

〔遊ビ方〕左ノ文章ノ文字ノ順ニ點カラ點ヘ線ヲ引イテ御覧ナサイ。

二六〇〇ネン　バンザイ！
コンナニ　ナガク　サカエテ
ヰル　オクニ　ハ　ニッポン
ノ　ホカ　ドコニモ　アリマ
セン。コノ　アリガタイ　オ
クニ　ヲ　グリコ　ゲンキ　ノ
ボクタチ　ミンナ　デ　マス
マス　リッパ　ニ　ノバシテ
イキマセウ。

榮養菓子
グリコ
元氣の素グリコーゲンを含む

I.G.A

グリコ株式會社（東京・大阪・奉天・天津）

謹賀戰捷新春
皇紀二六〇〇年
臺北市榮町四丁目七番地
臺灣畜產株式會社
電話二八一・二七四〇五番

臺北市榮町四丁目四番地
株式會社　賀田組

臺北市北門町七番地
株式會社　櫻井組

臺北市京町三丁目四、五、六番地
株式會社　高進商會

保證責任　南邦建築組合
事務所　臺北市本町四ノ二三
電話七三六二番

御菓子　梅月堂
臺北市榮町三ノ五
電話五六四八番

祝長期建設之新年
本年も不相變御愛顧の程
伏而御願申上候
臺北市榮町一ノ二〇
新高堂書店
電話　二三〇一番　五二三〇番

臺北市本町二ノ五
株式會社　盛進商行

山陽木材防腐株式會社

洋傘專門店　日進洋傘店
服地專門店　丸菱商店
織物卸商　日進商會
服地專門店　ヒシヤ服地店
實用百貨店　日進マーケツト
日進產業株式會社

小塚本店
小塚本店印刷工場
小塚本店オフセツト工場

臺北消防組

合名會社　中山電氣商會
臺北市榮町四丁目八番地

臺北市榮町壹丁目四番地
堀谷洋服店
堀谷寅一郎
電話參六四四番

化粧品　テルミー
臺灣總配給所
花一商店
臺北市榮町壹丁目拾四番地
電話四貳七五番

靴鞄商
合名會社　巴商會
臺北市榮町貳丁目
代表社員　久米辛
電話

福岡洋家具商會
臺北市京町壹丁目
電話四參七四番

臺北市大和町
鈴木電氣店

有限責任　艋舺信用組合
臺北市有明町貳丁目五番地
電話參貳六〇番

大阪メーター株式會社
臺灣總代理店　各種自動車用品商
タナカ商會
臺北市京町四ノ五
電話四壹四六番

特許販賣
山茂商店
代表社員　曾根茂夫
電話五〇貳四番

保證責任　萬華信用利用組合
臺北市入船町貳丁目拾六番地
電話參〇五八番

ホテル專屬
高砂蒸汽洗濯部
臺北市北門町七
電話參參六番

協志商會
臺北市緑町壹丁目貳番地
電話參八六〇番

合名會社　山下商店
臺北市本町貳丁目
電話五參七〇〇番

雨覆ニハ古クナル程效力ヲ發揮スル
特許　シート防水油
臺灣代理店　山本帆布店

春光電氣商會
臺北市新富町參ノ五七

土木建築請負業
大田謙六
臺北市大正町貳

諸官衙御用達各購買組合特約店
石炭　コークス　薪炭類
モカネモ商會

藤山商店
臺北市新起町壹ノ貳
電話四七〇九番

茶問屋
富貴園茶舖
臺北市永樂町壹丁目角
電話貳六七六番

持永紙店
臺北市本町壹丁目
電話五八八番

谷野文具店
臺北市京町壹丁目
電話參七六四番

三村商店
臺北市西門町壹丁目拾四番地

脱脂綿製造
鈴木猪三郎商店
臺北市新起町參丁目
電話七貳八六番

迎春皇紀二千六百年

臺北市[illegible]丁目六十八番地
保證責任 臺北勸業信用利用組合
[illegible]

日本石油株式會社代理店
張東隆商事株式會社
張東隆殖產株式會社
臺北市太平町二丁目[illegible]

株式會社 協和商行
臺北市太平町參丁目百四五

同業組合 臺灣茶商公會

慶珍醬油株式會社
臺北工場 士林工場 [illegible]

株式會社 高砂鐵工所
臺北市太平町七丁目[illegible]番地

和益鑄造鐵工所
臺北市宮前町四〇四番地 電話參〇七九番

大有物產株式會社
臺北市[illegible] 電話[illegible]

諸機械製作修理一般鐵工業
東洋鐵工株式會社
臺北市大龍峒町九拾五番地 電話參七九四

臺灣ゼニスパイプ株式會社工場
臺北市北門町拾[illegible]番地
臺北市[illegible]六五參番地

臺灣清涼飲料水統制組合
臺北市御成町參丁目拾七番地 電話[illegible]番

ボールト、ナット、リベット、モール、ミーページ、スパイキ專門製作
臺灣ボールト株式會社
取締役社長 劉有水
臺北市下奎府町 電話六貳參四番

大阪商船株式會社
臺北船客案內所
大稻埕乘船券發賣所
臺北市表町二丁目二〇 臺北市太平町四丁目

山本營業部
營業所 臺北市末廣町壹ノ拾參 電話四〇八九番

洋家具類 横山椅子店
臺北市[illegible]

臺北刑務所印刷取扱所 サカマキ商行
阪牧莊之進
臺北市[illegible]

有限責任 稻江信用組合
臺北市太平町四丁目八九番地
電話[illegible]

合資會社 臺灣殖產興業會社
本店 臺北市太平町三ノ二 電話[illegible]
支店 臺中市[illegible]

臺北市京町四丁目拾壹番地
臺灣鋼材配給株式會社
社長 高橋猪之助

日本鋪道株式會社

資本金壹百萬圓 大正元年創立
金錢信託、貸付業務、不動產管理
株式會社 臺灣興業信託會社
本店 臺北市[illegible]
出張事務所 [illegible]

保證責任 臺北倉庫信用利用組合
臺北市樺山町七拾番地 電話四參五〇番

松浦氷菓工場

臺灣生命保險協會

江里口利三郎商店

臺北南旅館組合

小間物化粧品商
榮屋
臺北市榮町貳丁目 電話七八參六番

本年も不相變御引立の程願上ます
味の素
本舗 鈴木商店

大阪商船株式會社
臺北支店 臺北驛前
基隆出張所 基隆驛前
高雄支店 高雄市新濱町
花蓮港出張所 花蓮港街黒金通り

福大公司
本社 臺北市北門町八番地
支店及出張所
厦門支店 [illegible]
廣東支店 [illegible]
汕頭出張所 [illegible]
上海出張所 上海ブロウトウエイマンシロンス五四四號
三竈島 [illegible]

三菱商事株式會社臺北高雄支店
出張員 基隆・臺中

資本金參千五百萬圓
日本通運株式會社
臺北州臺北市北門町拾壹番地
社長 國澤新兵衛
副社長 村上義一
理事臺灣支社長 安座上眞
本社 東京市麹町區丸ノ內貳丁目貳拾番地
臺灣支店 [illegible]

臺灣拓殖株式會社
本社 臺北市榮町三丁目一番地 帝國生命館內
代表電話 宿直電話 [illegible]
社長 加藤恭平
支店 東京、臺中、臺南、高雄
出張所 臺東、廣東
事務所 花蓮港、海口、三亞、汕頭、江門、マニラ、香港、盤谷

臺灣電力株式會社
營業
一、電氣ノ發生供給販賣事業及其ノ附帶業務
二、電氣事業瓦斯事業又ハ之ニ關聯スル事業ノ投資
社長 林安繁
本社 臺北市書院町壹丁目壹番地
支社 東京
營業所 臺北、基隆、宜蘭、臺中、彰化、臺南、高雄、屏東

臺灣纖維工業株式會社
本店 臺北市大安

臺灣化成工業株式會社

臺北市本町一ノ一七
古河電氣工業株式會社 臺北販賣店
富士電機製造株式會社 臺北出張所
東亞化學株式會社 臺北出張所

臺北市上埤頭一五四
高砂麥酒株式會社

杉原產業株式會社

臺灣合同電氣株式會社

合資會社
東陽ゴム株式會社
臺灣ゴム工業所
豐原ゴム工業株式會社

臺北市本町三丁目
臺灣勸業無盡株式會社
電話 參〇壹貳番 貳〇九五番 四六六四番

有限責任 臺北信用組合
臺北市榮町
電話 貳五〇八番 四壹九參番

森永製品臺灣販賣株式會社
本社 臺北市本町二丁目三〇番地
出張所 臺中、高雄、嘉義、臺東、
配給所 基隆、宜蘭、花蓮港、新竹、臺南

株式會社 菊元商行
臺北市太平町三丁目
菊元商行卸部 臺北市太平町三
菊元百貨店 臺北市榮町三丁目
菊元販賣店 臺北市太平町二丁目
菊元高雄販賣店 高雄市鹽埕町三丁目

臺北市表町貳丁目十四番地
大連汽船株式會社 臺北出張所

臺北市宮前町
臺灣オフセット印刷株式會社
電話貳貳四參・五四五〇番

日滿商事株式會社 臺北出張所
臺北市榮町參丁目壹番地

臺北市北門町八番地
大倉商事株式會社 臺北出張所
電話 長 三四〇五番 三〇五三番

臺北市綠町五ノ五
臺北中央市場株式會社
電話 貳七八參番 五壹七參番

臺北市泉町壹丁目七番地
臺北州自動車運輸株式會社

[illegible]
出光商會臺北支店
臺北市表町二丁目四十一番地
出張所 [illegible]

大成火災海上保險株式會社
臺北市表町二丁目十一番地 電話[illegible]
取締役社長 林熊光
常務取締役 益子逞輔

營業種目
畜產物ノ加工販賣
畜肉ノ冷凍販賣
家畜取引
飼料ノ調製配給
製革

臺灣畜產興業株式會社
臺北市北門町八番地 電話[illegible]
臺北製革工場 [illegible]
高雄出張所 [illegible]
臺南出張所
臺南製革工場 [illegible]
臺中出張所 [illegible]
中壢駐在所 [illegible]

臺北市明石町二丁目二番地
臺灣煉瓦株式會社
松山工場 圓山工場 板橋工場 中壢工場 新竹工場 外二分工場二十一ヶ所
臺中工場 花壇工場 斗南工場 嘉義工場 佳里工場
製瓦部
臺南工場 岡山工場 高雄工場 屏東工場 宜蘭工場 虎尾工場

株式會社 **清水組臺灣支店**
臺北市表町二ノ一二
清水組廣東營業所
廣東市太平路三九

謹賀戰捷新春
皇紀二千六百年

株式會社 **華南銀行**
廣東支店
廣東市惠愛中路二〇號
電話 一〇、四二六　一〇、七七八　一四、六二四　一二、一七五　一〇、八二五
佛山出張所 南海縣佛山市
順德出張所 順德縣大良市 電話 四七
江門出張所 新會縣江門市

御指定 **廣瀨スタヂオ**

中山時計店

廈門新興洋行 廣東支店

都ホテル

喫茶食堂 **つはもの**

カフエー **小鳩** 佐藤光雄

平和食堂

食堂 **八丁**

華興食堂

開南組

玉家旅館 廣東市德政北路

御料理 **春乃家**

御料理 **花吉**

花園莊 藤井千代乃

廣東日本人小學校長 **浩田榮一**

御用達 **振山洋行**

貿易雜貨 **廣大公司**

臺灣特有料理 御料理 **臺灣精養軒**

菊正宗 **茂利洋行**

機械工場 再生ゴム工場 **ハヤシ製作所**

和田メガネ店 本店 支店 和田一次

東光興業公司

食堂 **あけぼの**

たるや呉服店 店主 高津喜代太郎

アイスクリーム アイスキヤンデー **食堂**

最新流行型 婦人子供服專門 **ヒカル洋裝店**

軍指定 **永大公司**

池末呉服店 支店

カフエー **ツバサ** 岡田健助

御料理 **福住**

僕の内 岡本喜平次

トーチカ食堂

西村商會 廣東出張所

貿易商 **振裕洋行** 廣東支店 店主 呂振昌

御料理 **妻鶴**

溝口洋行

☆ **王永星洋行** 王永祿

日華電氣工業所

貿易商 **吉松洋行** 李洪淡 許金泉

新華ホテル
廣東市太平路

瓢亭
廣東市豪賢路壹五九號
電話 壹壹五九七番 壹參六六八番

廣東最大社交場 **モンパリ支店**
廣東市長堤大馬路貳七〇號
廣東ホテル

喫茶食堂 **東洋** 店主 森本照代

八木兄弟商會 廣東市惠愛中路五九號 電話 一三七七三番

丸金商會

貿易商 **瑞成洋行** 廣東市漢民北路二五九號 電話 一五五四九番

貿易商 **南大洋行** 代理店

貿易商 ㊀ **丸一洋行** 廣東市太平路七七號 分行

廣東随一 日華美人數十名 カフエー **廣東**

營業品目 **藤原疊店**

ミクニ洋行 廣東支店 廣東市惠愛中路二七號 電話 一三四二八番 德原幸兵衛

銃砲刀劍 新古各種 日本刀一式 **並川金物店**

喫茶 **大洋** 廣東惠愛中路七二號 電話 一三一九一番

松原ホテル 廣東市太平南路二五號

土木建築請負業 八大組 **大野誠一**

軍御用土木建築請負 **菅井組 廣東出張所** 本店 菅井富次郎

新高製菓廣東工場 廣東惠愛東路三〇一號 電話 一二二四四番

御旅館 **廣東館** 廣東市太平路一六六號 代表電話 一一六七二

御料理 **千歳花壇** 廣東市豪賢路八六號 電話 一〇一五三 一三二六六番

御料理 御旅館 **清風** 廣東市文德路廠後街四七號

御料理 **一力** 廣東市倉邊路參九號

軍御用達 ㊂ **丸三大藥房** 店主 平田

割烹 **千春** 廣東市越秀北路安樂道貳〇 電話 壹壹〇七四番

御料理 **はる永** 廣東市豪賢路府街四號 電話 壹壹八七貳番

株式會社 **湯川組 廣東出張所** 廣東市德政北路 電話 壹四參壹〇番

廣東電氣工業社 廣東電力管理處指定工事人

有限公司 **辰馬洋行** 廣東市長堤大馬路壹七九號

南支派遣軍御指定土木建築請負業 合資會社 **桂商會廣東出張所** 廣東市豪賢路五貳號 代表者 田中憲二

田村組廣東出張所 廣東市惠愛中路壹九貳號 電話 壹參參五貳番

株式會社 **桑田商店 廣東出張所** 廣東市太平路壹六參號 桑田洋行

株式會社 **越智商店 廣東出張所** 廣東市太平路八拾壹號 越智洋行

株式會社 **共益社 廣東出張所** 廣東市惠愛中路壹九八號 電話 壹七貳四七番

鎌野時計舖 廣東出張所 本店 臺北市

◎ **日本水產株式會社** 廣東出張所 海珠新堤壹九四號
冷凍魚、鹽干魚、農產物 罐詰販賣並ニ製氷冷藏

土木建築請負業 石井組廣東出張所 **石井組** 石井愛二 本店 支店 出張所

株式會社 **竹腰商店廣東支店** 廣東市太平路二七一號 竹腰洋行 自動車部 東亞乘合自動車營業 本店 臺北市本町四ノ十一 支店 海口、大阪、高雄 出張所 東石

御料理 **菊水** 廣東市豪賢路粉街一二〇號 電話 一三一五九番

カフエー **有明**

華南燐寸株式會社 廣東市長堤大馬路二四號 電話 一四九六四番

白雲大酒店 廣東市長堤大馬路

協興貿易洋行

毛織物卸商 松本商行廣東支店 **廣松洋行** 廣東市太平路三三五號 電話 一六五九五番

廣東內河運營組合 廣州市長堤三八二號

太平藥行廣東支店 本店 臺北市

廣東航運同業組合（順序不同）

㊀ **丸一組廣東出張所**
大連汽船株式會社代理店
辰馬汽船株式會社代理店
海運株式會社代理店
廣州市白雲路
電話 壹〇四八參番
營業種目 海陸運送 通關代辨 勞力請負 內河貨物 貨客輸送 附隨業務

臺灣倉庫株式會社 廣東出張所
廣州市西堤新
營業種目 貨物保管 海陸運送 貨物自動車運輸業 船貨積卸 通關代辨 代理業務
本店 基隆

臺灣運輸株式會社 廣東出張所
廣東市西堤大馬路五四號
營業種目 海陸運送其他附帶事業一切

南洋倉庫株式會社 廣東支店
廣東市太平路
本社 神戶市
支店 新嘉坡及蘭領印度各地

株式會社 **日東商船組廣東出張所**
廣東市八旗大興路六拾貳號
電話 壹四參貳九番
營業種目 海陸運送 通關代辨 貨物自動車業 運送取扱業 勞力請負業

國際運輸株式會社
日本海上保險株式會社
帝國海上保險株式會社
朝日海上保險株式會社

杉原產業株式會社 廣東支店 廣東・長堤

臺灣水產販賣株式會社 廣東出張所 廣東市河南廣東魚市場構內 電話 事務所 五〇貳〇七番 社宅 一四八六八番

東亞興業公司 營業種目 材木、板ガラス、建築用材 製造、家具、雜貨 食料品、婦人服、布帛、洋雜貨 自轉車、荒物、陶器、磁器 化粧品

雜貨 貿易商 **岩田洋行**

萬年筆及 印章全般 **以文堂**

アパート **林** 林鴻文

廣東魚市場組合 廣東市河南海珠橋畔

株式會社 **山之內藥品商會 廣東出張所** 廣東市惠愛中路壹七五號

臺灣鐵工所 廣東出張所 營業種目 諸機械類船舶設計製作修理 電氣及瓦斯熔接 土木建築一切 廣東市

株式會社 **南興公司廣東駐在所** 廣州市長堤大馬路七九號

東勝公司

祝ぐ門松も優雅な武漢三鎭の元旦

日、支人建設を力強く誓ふ

【漢口一日發同盟】[illegible]

感銘[illegible]

皇軍[illegible]

島都

自肅正月の姿

臺灣神社へ初詣

午前中だけで三萬九千餘名

[illegible]

皇軍へ感謝を忘れずお目出度う交換

公會堂の新年交禮會

[illegible]

高齡參拜者に賑ふ新春の橿原神宮

本島からも遙々と參拜

【橿原一日發同盟】[illegible]

初詣に賑ふ臺灣神社

㊤元旦午前零時の社前　㊦社殿いやまさる社頭のかがり火

新年の辭

木原臺北市尹

[illegible]

金甌無缺　[illegible]

神武天皇　[illegible]

つゝましき新年交禮會

壇上は新年の辭を述べる木原新市尹

本社の新年祝賀式

[illegible]

翻て本島　[illegible]

高き矜持　[illegible]

各地の新春拜賀

基隆　【基隆電話】[illegible]

宜蘭　【宜蘭電話】[illegible]

士林　[illegible]

新竹　【新竹電話】[illegible]

臺中　【臺中電話】[illegible]

茲に光輝あるを

[illegible]

基隆神社の參拜者二萬

【基隆電話】[illegible]

【寫眞は公會堂に於ける[illegible]】

市の初慰問

市主殘留者に招待

[illegible]

潮、汕に明朗調

小學校が開校と決定して

家族部隊も續々來汕

【汕頭にて[illegible]】[illegible]

大和號

ローマ安着

【ローマ三十一日發同盟】[illegible]

松倉船長母國へ

遭難狀況を放送

【ニューヨーク一日發同盟】[illegible]

樂洲庄に初火事

[illegible]

北一中勝つ

[illegible]

大和丸（新造）[illegible]

けふの天氣

（一日[illegible]）

北部地方　[illegible]

中部地方　[illegible]

南部地方　[illegible]

東部地方　[illegible]

澎湖地方　[illegible]

長男朗儀病氣療養中の處藥石效なく今朝三時死亡致候間此段謹告候

[illegible]

一月二日

[illegible]

父　藤村正雄

親戚　內藤政榮

友人　竹中憲二

同　花輪正太郎

代　樋口要司

恭賀皇紀二千六百年

年賀欠禮本紙上を以て賀正の御挨拶申述候　匆々

在東京　赤石定藏

一月五日、六日、七日

一月十三日、十四日

高雄競馬

高雄州畜產會

參日より參日間

全大船東寶番組

出發

丸髷混線記

ママの縁談

第二世界館

日本未曾有の邦樂音樂映畫

川口松太郎原作　サンデー毎日所載

三味線武士

久々の嵐寛壽郎主演

澤村國太郎・橘公子・近松里子助演

賛演　杉狂兒　上演

杉狂兒の歌日記

出演プログラム全部[illegible]

[illegible]

封切

大世界

東京名人競演會

島都の演劇界を風靡する巨大陣！

イヨ〜三日四日の晝夜二回公演

櫻井健二と靜ときわ

說　キングビクター歌手　兒玉好雄

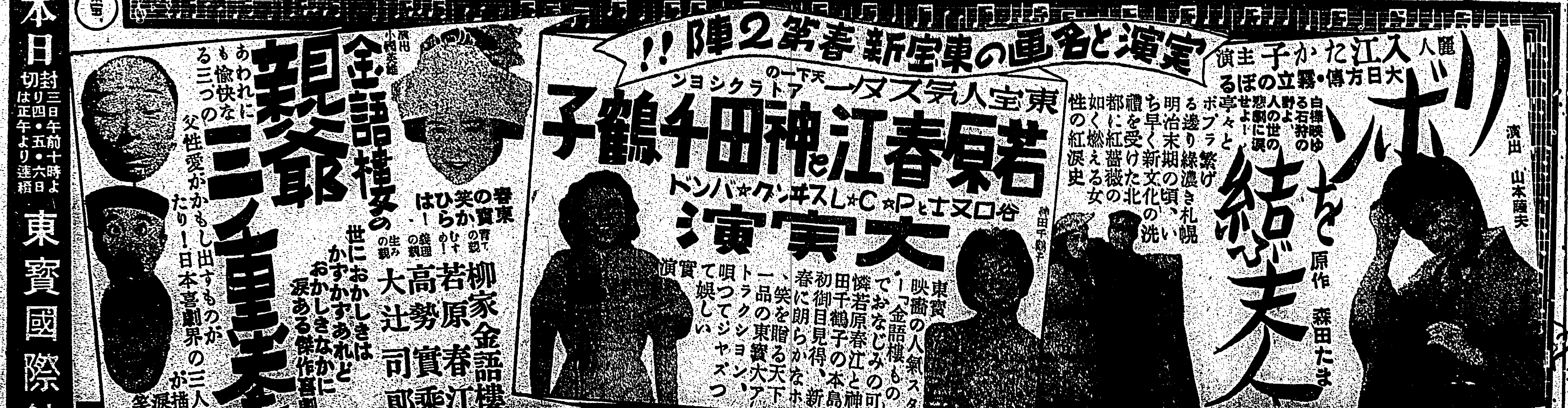
同　テイチク專屬　靜ときわ

同　テイチク專屬　櫻井健二

新舞踊家元　吾妻春枝

何はさておいても公會堂へ

於公會堂



本日封切　三日午前十時より　四・五・六日は正午より連續

東寶國際館

實演と名畫の東寶新春第2陣！！

東寶人氣スター　天下一のアトラクシヨン

若原春江と神田千鶴子

谷口又士とP・C・L・スヰング・バンド

大實演

東寶映畫の人氣スター「金語樓もの」でおなじみの可憐若原春江と神田千鶴子の本島初御目見得、新春に朗らかなホ、笑を贈る天下一品の東寶大アトラクシヨン、唄つてジャズつて娯しい實演

金語樓の親爺三重奏

演出　小田英雄

あわれにも愉快なる三つの父性愛がかもし出すものがたり！日本喜劇界の三人男が描く涙と笑ひ

世におかしきはかずかずあれどおかしきなかに涙ある傑作喜劇

柳家金語樓　若原春江　高勢實乘　大辻司郎

麗人入江たか子主演　大日方傳・霧立のぼる

白樺ゆる石狩の野よ人の世の悲劇に涙せよ！ポプラ繁げる邊り緑濃き札幌　明治末期の頃いち早く新文化の洗禮を受けた北都に紅薔薇の如く燃える女性の紅涙史

リボンを結ぶ夫人

原作　森田たま

演出　山本薩夫

神苑の朝　伊勢大廟

神武天皇の鴻業

皇紀二千六百年を奉祝して

（上）

文學博士　植木直一郎

[illegible]

ロ　ロ

[illegible]

ロ　ロ

[illegible]

日本の傳統

二千六百年を貫いた習俗

（上）

早大教授　今和次郎

目前の現實

[illegible] 七〇年頃アメリカの國民服として興つたものであるし、[illegible] 氏がかくモーニングにシルクハットの起ひは西紀一七八〇年頃からイギリスやフランスにはじまつたもの、また、洋服としての紋付羽織袴は、江戸時代の末からの習俗、散髪の頭は明治初年に西洋から移入したものなどと數へ上げると、われわれの身邊には、何もかも新らしいものばかりで、五六百年とその[illegible]を溯れるものは殆どないかのやうである。

われわれは一般習俗については忘れつぽく、無頓着で、古きを捨ててどんどん歩み行きつつある運命にあるものかの如く見える。

しかし、正月こそは、昔を振り返り、われわれの祖先を偲び、祖國を想ふ機會なのであるから、茲に少しく、建國以來二千六百年、今に變らぬ何ものかを尋ねて見ようと思ふのである。目前の現實の中から、或は特殊な機會にひそむものの中から、それを探し求めて見ようと思ふのである。

精神的習俗と物質的習俗

神前に行く。神々しい杜の中へと、鳥居をくぐり、石段を登り社殿をみて、口や手を清めて、社殿の前にわれわれは額づく。その [illegible]

神社の祭禮は伊勢神宮、出雲大社、大神神社、住吉神社のほかは、大 [illegible] 平安時代以後の [illegible] るし、そしてそこで神前に仕へる神官の服裝は必ず平安時代を彷彿せしめる姿であるのに接するのである。

[illegible]

北京の正月

奇拔なのは高脚踊

爆竹の音

支那ではお正月は舊のお正月を使つてゐるが、大晦日の晩に守歳（ショウツイ）といつて日本のやうに徹夜をし元旦になると守護神が天上から降臨ましますといふので香を焚き蠟燭を點して神を迎へる。これを接神（チエシエヌ）といつてゐる。これが濟むと閉けておいた門扉を閉めて同時に爆竹をポンポン打鳴らす、彼方此方の家々で爆竹を鳴らす頃から [illegible] 正月氣分が出て來る、[illegible] としては先づ天地四方を拜し、[illegible] 神を拜し家堂（家の中に作つた祭壇）に祖先を祀り門神を祀り、子供達は父母を拜す、この時お互ひに新年のお喜びを述べ合ふ、それから食事について一家團欒してお正月料理を飲み且つ食ふのである [illegible]

[illegible]

御馳走と飾り物

[illegible]

農村に見る

[illegible]

嫁女の里歸り

[illegible]

亂兆（一）

三國志

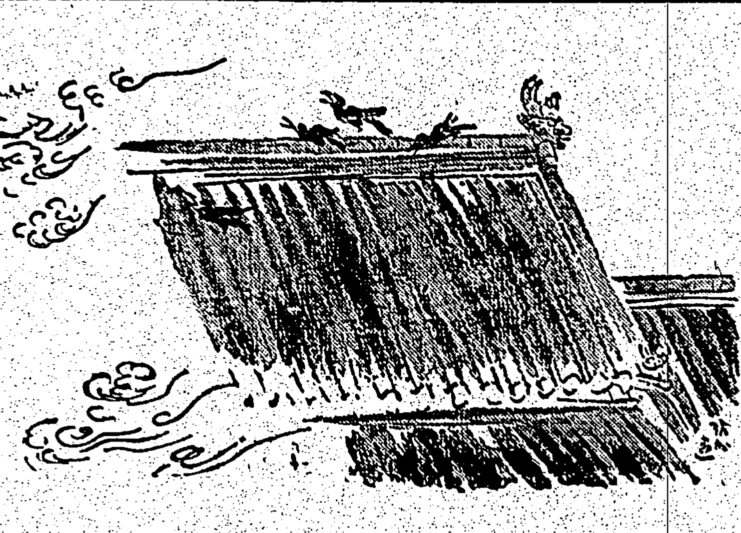
（桃園の巻）

（95）

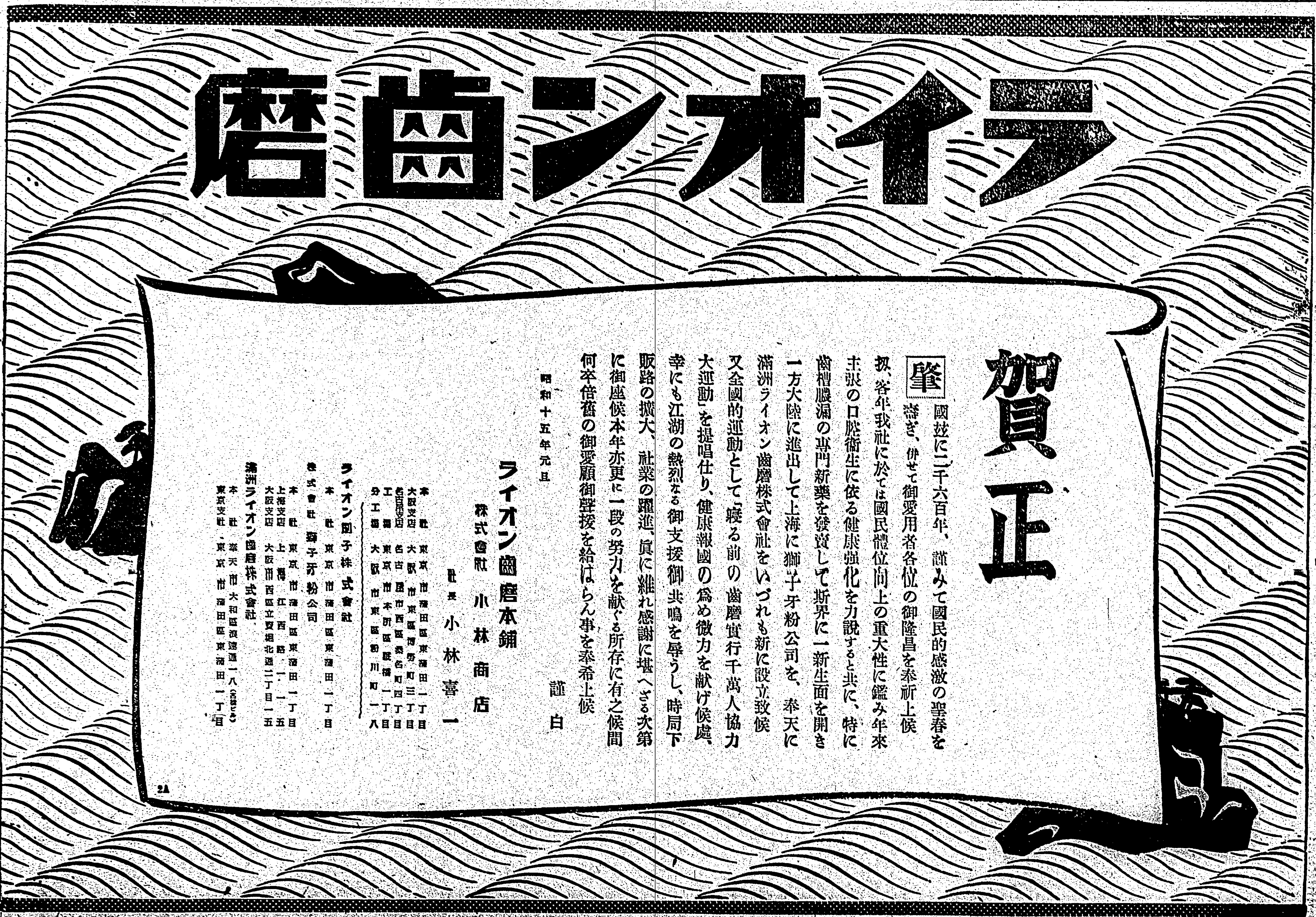
吉川英治作

矢野橋村畫

[illegible]



[illegible]



ライオン齒磨

賀正

肇國茲に二千六百年、謹みて國民的感激の聖春を寿ぎ、併せて御愛用者各位の御隆昌を奉祈上候

扨、客年我社に於ては國民體位向上の重大性に鑑み年來主張の口腔衛生に依る健康強化を力説すると共に、特に齒槽膿漏の專門新藥を發賣して斯界に一新生面を開き一方大陸に進出して上海に獅子牙粉公司を、奉天に滿洲ライオン齒磨株式會社をいづれも新に設立致候

又全國的運動として「寝る前の齒磨實行千萬人協力大運動」を提唱仕り、健康報國の爲め微力を献げ候處幸にも江湖の熱烈なる御支援御共鳴を辱うし、時局下販路の擴大、社業の躍進、眞に維れ感謝に堪へざる次第に御座候本年亦更に一段の努力を献ぐる所存に有之候間何卒倍舊の御愛顧御聲援を給はらん事を奉希上候

謹白

昭和十五年元旦

ライオン齒磨本舗
株式會社　小林商店
社長　小林喜一

本社　東京市蒲田區東蒲田一丁目
大阪支店　大阪市東區博勞町三丁目
名古屋支店　名古屋市西區泉名町四丁目
工場　東京市本所區緑町一丁目
分工場　大阪市東區谷川町一八

ライオン園子株式會社
本社　東京市蒲田區東蒲田一丁目

株式會社　獅子牙粉公司
本社　東京市蒲田區東蒲田一丁目
上海支店　上海江西路一一五
大阪支店　大阪市西區立賣堀北通二丁目一五

滿洲ライオン齒磨株式會社
本社　奉天市大和區浪速通一八
東京支社　東京市蒲田區東蒲田一丁目